

ご質問	回答
アイデアの内容が栃木県外で行うものでも応募の対象となりますか。	応募は可能です。ただし、栃木県内への貢献を重視する企業からの企業賞は獲得できない可能性はあります。
今回のピッチバトルのゴールは、学生のアイデアを「形にする」ことでしょうか？	ゴールは「最初の助走をサポートする」こととなります。学生がゴールに向けて走り出す最初の部分をサポートすることが目的となります。
企業としてのサポートは、最初の段階のみ（最後まで並走しない）というイメージでしょうか？それともケースバイケースですか？	ケースバイケースと考えております。もし企業様がアイデアを「非常に面白く、実際に実現したい」ということであれば、その実現までサポートしていただいても全く問題ありません。その場合、企業賞の副賞である、サポートの具体的な内容や期間をお示しいただければと思います。
学生＆企業研究発表会の時の冊子への広告掲載や当日の企業PR動画、賞状の提供はないのか。	昨年度までの事業とは異なり、冊子を作る予定やPR動画を流すお時間がございません。広告費用について学生へのサポートに充てていただくことをお願いいたします。
立場上、学生個人に直接支援することは難しいので「企業賞なし」で当日の審査委員と懇親会参加での支援でよろしいか	そういった参加形態も承っておりますので、是非ご参加をご検討くださいますと幸いです。
次年度以降も「とちぎ学生アイデアピッチバトル」が継続されるという理解でしょうか。	現段階では、継続する予定でおります。
当センターの助成事業を案内させていただくことは可能でしょうか？（チラシ）	現在の予定では、12/20本戦会場にPRブースの設置を予定しております。詳細が確定次第、ご連絡差し上げたいと考えております。
次年度以降も後援を継続する場合、予算の確保が必要となります。後援団体の登録費用は毎年登録を行う必要がありますでしょうか。	毎年登録の必要があります。
学生は企業・団体からサポートを受けられるとありますが、学生は複数の企業からサポートを受ける可能性もありますか。もしくは、1企業・団体のみのサポートでしょうか。	マッチングの状況により、特定の学生・チーム複数の企業・団体からサポートを受ける場合や、逆に内容が良く評価されても、サポートがつかない学生・チームも出てしまうことも想定しています。

ご質問	回答
学生のアイデアだけをもらって一儲けする企業もでてくるのでは、というような意見が出たがどうお考えなのか。	シリコンバレーの投資家の間では、「Ideas are cheap, execution is everything（アイデアは安価であり、実行こそが全て）」という言葉が言われているようです。事務局としても、アイデアだけでは何かを実現することは難しく、リスクを負って実行する「人（チーム）」にこそ価値があり、これなくしては、アイデアの実現は難しいと考えています。ですので、学生の皆様には、アイデアのみならず、自分または自分たちのチームはこれを実現するためにこれだけの実行力、熱意を持っているというところをアピールするようご指導賜りますようお願いいたします。
当日までに後援企業,団体にはどんなアイデアを持った学生が参加するのか知らされるのか。	予選通過した学生・チームについては、確定次第、発表タイトルを後援企業,団体向けにお知らせさせて頂く予定です。
学生側はどのような後援企業,団体が参加するのか知らされるのか。	後援企業,団体が確定し、公開可能な状況になり次第、お知らせしたいと考えております。
当日、企業賞の内容を決定するのは難しいと思うがその場合はどう考えれば良いか。	サポート内容につきましては、お知らせするタイトルから、サポート可能な内容をご検討の上お持ちいただき、当日の発表内容や学生・チームが必要とするサポートとのマッチング状況によりアジャストいただき、サポートを賜れますと幸いです。
当日以降の関わり方がよくわからない。具体的には、アイデアの実現まで伴走しなければならないのか、そうになるとかなりのリソースを割くことになる。	実現まで伴走することを必須とするものではありません。説明会の際にお送りした企画書＞4.その他にて以下のご案内をさせていただいております。 ----- 大会の順位とは別に、後援企業から「企業賞」という形で学生のサポートを行う。企業賞として、実証実験のサポート、物品の提供、意見交換の場の設定を想定 ----- こちらにあるように、打ち合わせ場所の提供や、簡単な備品の提供等、可能な範囲のサポートをご検討賜れますと幸いです。

ご質問	回答
映像を差し込んでも良いですか？	差し込んでも構いません。 ただし、本番に近い形式（例：プレゼン中に動画を流すような形）での構成をお願いします。
グループで発表する場合、自己紹介はどのタイミングで行えば良いですか？	冒頭でまとめて自己紹介を行うことを推奨します。 研究室名・サークル名など所属がわかる内容は避けてください。 例：「●●、●●、●●の3人で発表します。（その後発表を始める）」 ただし、100秒という限られた時間内で複数人が交代して発表することは推奨しません。代表1人がまとめて話す形式をおすすめします。
Vtuber活動を行うアイデアを検討しています。Vtuberモデルで発表しても良いですか？	冒頭の自己紹介は顔出しで行っていただき、その後Vtuberモデルを使用していただく構成であれば問題ありません。